|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）  科目名　初等科教育法（音楽）（2025年　３月31日作成）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2023536205　岩木　美詠子 | | | | | | |
| (○○する、力が  内容　　　ある) 事実、概念、 手続き、メタ認知 | 想起する | 理解する | 応用する | 分析する | 評価する | 創造する |
| （再認、再生） | 解釈、例示、分類、推論、比較、説明 | 実行、遂行 | 比較、組織 結果と原因 | チェック、判断 | 生み出す、計画 できる、汎化 |
| １　21世紀型学力 |  | 21世紀学力について説明する |  |  |  |  |
|  |  | 前向き授業の音楽科の取り組み例をあげる |  |  |  |
| ２　インストラクショナルデザイン |  | インストラクショナルデザインとは何か説明する |  |  |  |  |
|  |  | ADDIEモデルについて事例をあげる |  |  |  |
| ３　学習目標の明確化 |  |  | ブルームの教育目標分類について、行動目標による例を取り上げて説明する | ブルームの教育目標分類と  ガニェの学習成果の5分類を比較して、それぞれのよさと違いを説明する |  |  |
|  |  | ガニェの学習成果の5分類について、具体例を挙げて説明する |  |  |
| ４　教育方法の歴  　史 |  | 学習観(行動主義、認知主義、構成主義、社会構成主義)の変化について説明する |  |  |  |  |
|  |  | 現在の学習指導要領における学習者の主体的に学ぶ態度(自律的な学び)について、音楽科の具体例を示しながら説明できる |  |  |  |
| ５　学習意欲を高める指導法 |  | 音楽科の学習の動機づけの具体例を挙げ、J.M.ケラーのARCＳモデルのどの分類にあたるか、説明する |  |  |  |  |
|  |  |  | 大人の学び支援について、その違いを具体的にカードで５つ挙げ、グループごとに分類し説明する |  |  |
| ６　教育デザイン | 受けてきた音楽の授業の単元・題材構成の種類を振り返る | 「主題による題材構成」「楽曲による題材構成」について説明する |  |  |  |  |
|  |  | デモンストレーション授業を受けて、題材構成のよかった点、うまくいかなかった点を分析し、評価する | | フローチャートを用いて、題材構成（授業デザイン）する |
| ７　学校段階間の接続 |  | 保幼小の連携、小中の学習指導要領の構成について、説明する |  |  |  |  |
|  |  | 発達段階を踏まえた指導の充実（低・中・高学年）について、具体的な手だてを説明できる。 |  |  |  |
| ８　新たな学びの学習環境 |  | キャロル（J.B.Carroll）の学校学習の時間モデルについて説明する |  |  |  |  |
|  |  | 「教えないで学べる」とはどのようなことか具体例を挙げて説明する |  | EdTechを用いた実践の生徒役として使用して、その実践を評価する | 「教えないで学べる」学習環境としてEdTechを１つ用いた実践を行う |
| ９　新たな学びの反転授業 |  |  | 反転授業について、具体例な説明ができる |  |  |  |
|  |  |  |  |  | 音楽教育における反転授業の学習展開について反転部分の指導案を作成する |
| 10　協働的な学びのICTデザイン |  |  | 協働的な学びにおけるICT活用のメリットを説明する |  |  |  |
|  |  | ICTを用いた協働学習の授業をデザインする |  |  |  |
| 11　主体的・対話的な深い学び |  |  | 主体的・対話的で深い学びを、具体例を挙げて説明する |  |  |  |
|  |  | ICTを活用した主体的・対話的で深い学びを実現する授業をデザインする |  |  |  |
| 12　カリキュラム・マネジメントと学校における音楽科の役割 |  | 子供や地域の実態、学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメント実現の計画例を挙げる |  |  |  |  |
| 13　カリキュラム・マネジメントと音楽科教科経営 |  | カリキュラム・マネジメントの充実のための授業計画例をたてる |  |  |  |  |
|  |  |  |  | PDCAサイクルの一環として音楽科経営の自己評価を行う |  |
| 14　 教育データの利活用 |  | 教材選択の視点（内容の取扱い）に沿って、表現・鑑賞領域の教材（楽曲）を例示する |  |  |  |  |
|  |  | １題材のデジタルコンテンツをつくる |  |  |  |
| 15　音楽はなぜ学校に必要か | 学校における音楽科の意味と価値を考えたことがあるか振り返る |  |  |  | 学校における音楽教育の意味と役割を考える |  |
|  |  |  |  | 未来を生きる世代に必要な音楽の意義と価値についての自分の考え方を反映させて授業づくりをする |